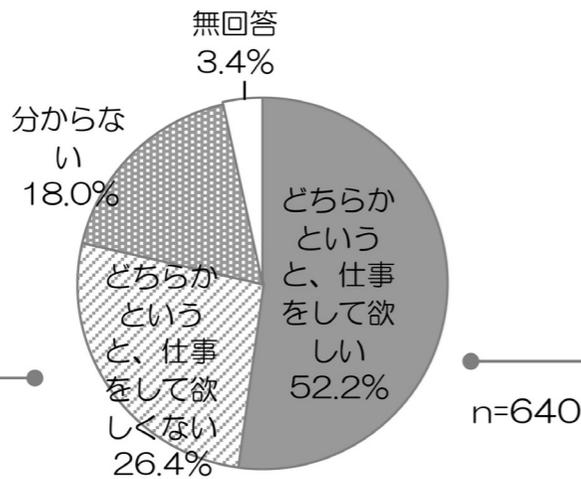
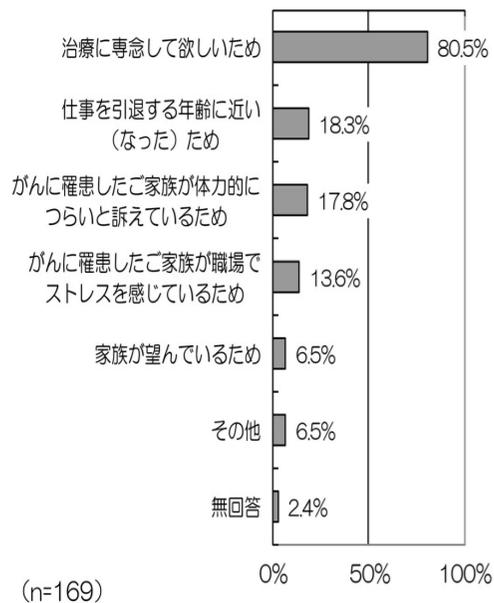


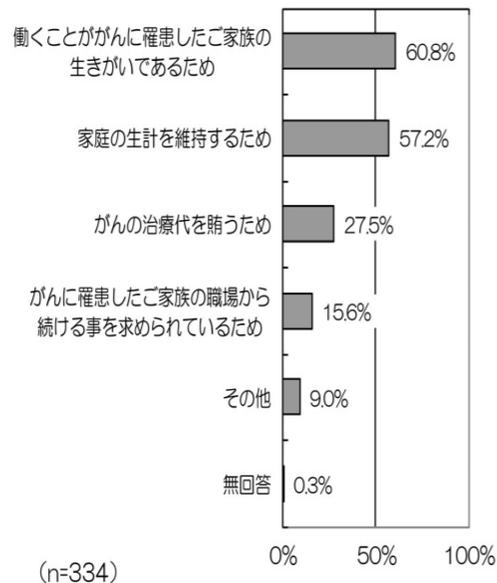
02 がんに罹患した家族の就労に関する意向



がん罹患者の家族に仕事をしてほしくない理由



がん罹患者の家族に仕事をして欲しい理由



ポイント

がん罹患者の家族に仕事をしてもらいたいと思う人は52.2%であった。その主な理由は、「働くことががん罹患者の生きがいになるため」という回答が60.8%と最も多く、「家庭の生計を維持するため」(57.2%)、

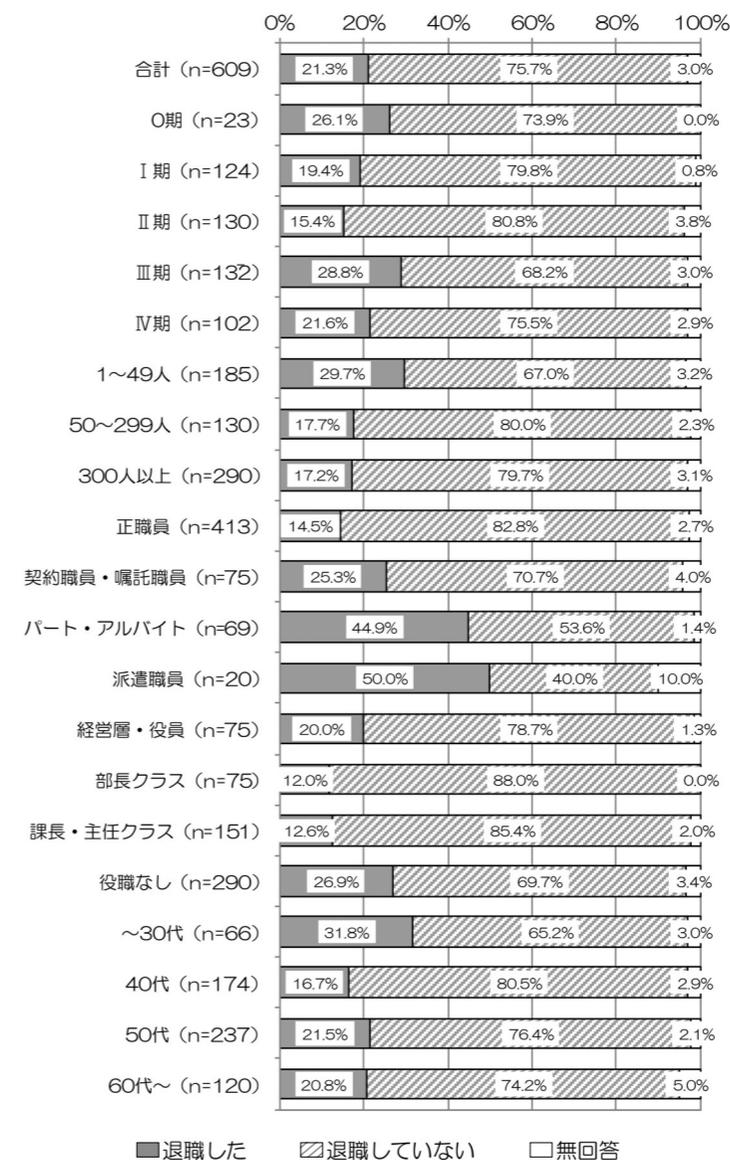
「がんの治療代を賄うため」(27.5%)と続いた。一方、がん罹患者の家族に仕事をしてもらいたくないと思う人は26.4%であった。その主な理由は「治療に専念して欲しいため」が80.5%と最も多かった。

データで学ぶ がん罹患者の就労ニーズと アドバイスのポイント

データ提供・解説 ● 東京都福祉保健局 松尾知成

出所=東京都福祉保健局「がん患者の就労等に関する実態調査」

01 がん罹患者後の退職の有無



ポイント

がん罹患者後、退職した人の割合は21.3%であった。進行度別に見ると、III期で28.8%と最も高く、II期で15.4%と最も低かった。正社員規模別では、「50人未満の法人に勤めていた」では29.7%と、50人以上の場合(17%)と比較して高かった。就業形態別では、「パート・アルバイト」で44.9%、「派遣職員」で50.0%と、「正職員」(14.5%)や「契約職員・嘱託職員」(25.3%)と比較して高かった。